

# 「Face-To-Faceの会」だより

## 大阪市大における医療連携プログラム

第一号 2008年6月 発行: 大阪市立大学病院「Face-to-Faceの会」 文責: 荒川哲男(代表世話人) 連絡先: 06-6645-2711 庶務課 佐々木担当係長

### 「参加しないともったいない!!」

### 阿倍野区医師会会長語る

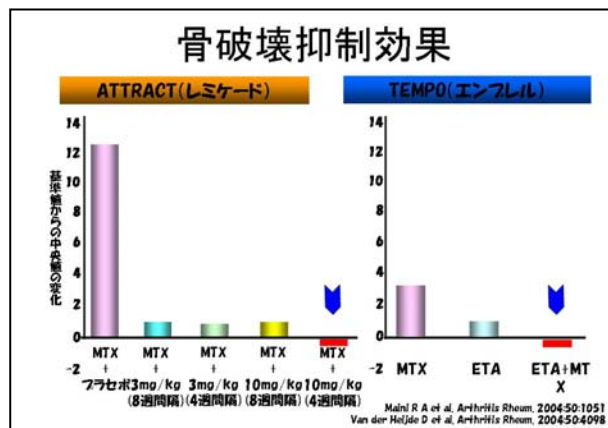
6月14日の、梅雨の季節には似つかわしくない晴天の暑い土曜日、阪神がロツテにぼろ負けしているさなかの午後3時から、第7回目となる「Face-to-Faceの会」が市大医学部学舎6階の中講義室で開催されました(次々ページ)。大阪市立大学病院と阿倍野区医師会を中心とした大阪府医師会11ブロックの共催で、実地医家と専門医が顔を会わせて知り合いになることで、スムーズな医療連携に結びつけようという目的で始まったこの勉強会も3年目に入りました。

#### 症例呈示

まず、消化器内科の織田裕二といわれているイケメンドクター?、亀田夏彦先生から下血の症例が提示されました。肝硬変を基礎疾患にもつ患者さんで、上部・下部消化管内視鏡検査で出血源が見つからなかったというやっかいな出血です。小腸の病変が疑われるわけですが、小腸は「暗黒の大陸」と言われてきたように、その検査は困難を極めており、原因不明のまま出血を繰り返すという経過をたどるのが常でした。市大病院では、カプセル内視鏡、ダブルバルーン小腸内視鏡



一度、メトトレキサートで間質性肺炎をきたしたことがある患者さんで、しかたなくサラゾスルファピリジンを使っていた方です。紹介されてきたときは、骨破壊がかなり進んでいたそうですが、別の免疫抑制剤であるタクロリムスを用いてインフリキシマブが投与でき、リウマチ結節が消え、骨破壊も改善、まったく痛みがなくなったそ



うです。副作用は感染症です。日本では結核が問題になる可能性があります。また、癌があれば悪化する可能性があります。コストも高価なので使用にあたってはそれ相応の配慮が必要であることを学びました。

#### ミニレクチャー

続いて、ミニレクチャーを放射線科の中村健治先生よりいただきました。マレーシアから帰国後すぐに来ていただき、持っていったパソコンが暑さのためか最初動かず焦りましたが、何とか動き出し、ホッとしました。「放射線医学の歴史はたかだか100年」というイントロダクションで始まり、100年の進歩のすごさを紹介してもらいました。中村先生自身の全身CT画像を動画で紹介していただき、酒に強い肝臓、脾臓を自慢されながら、はっきり写っている動脈硬化を気にしている風でした。こんなに見えてしまうと痛し痒しですが、いずれにしても画像診断の進歩は目を見張るものがあります。血管

内までもバーチャル画像で非観血的に見ることができ  
る時代になったようです。



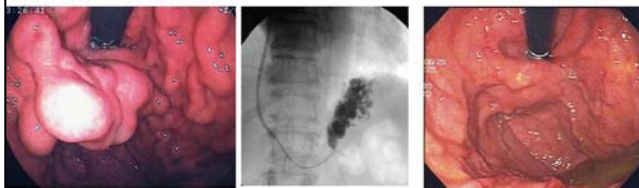
本題に入るまでに「最近の進歩はすごい！」と感動した方も多かったと思います。さて、門脈圧亢進に関するIVR治療として、まず、胃静脈瘤に対するBRTO(バルーン閉塞下逆行性静脈瘤硬化術)は200例を超えているそうです。瘤破裂を防ぐとともに、肝機能にも良い影響が出て、生存率が上がるというデータを示していただきました。次いでTIPS(経静脈的肝内門脈静脈短絡路)を紹介していただきました。胃静脈瘤破裂の緊急TIPSがうまくいった例、瘤がまったく消えました。また、2歳3ヶ月の先天性胆道閉鎖の小児、体重がたったの12kgの症例にTIPSが奏功した事例、最年少記録だそうです、それから難治性腹水に対しても奏功することを紹介していただきました。しかし、胃静脈瘤にはTIPSよりもBRTOの方が5年生存率がよいそうです。実地医家の先生方には、このような手段があることを認知していただき、こういった患者さんがおられれば、まず、消化器内科にご紹介ください。

### BRTO, Balloon Occluded Transvenous Obliteration

(胃-腎短絡路にバルーンカテーテルを挿入し、静脈瘤に向けて硬化剤を逆行性に注入)

胃内視鏡像 (術前)

BRTO後4日目



### 情報提供コーナー

最後に、情報提供コーナーでは、形成外科の原田輝一先生から、自費診療外来開設のお知らせをいただきました。しみ、ほくろなど美容レーザー対象疾患に対す



#### リハビリメイク外来

毎月第二月曜日:午後2時より顔にアザ・外傷瘢痕・変形などを負った方を対象に、メイクの指導を行います。かづきれい先生または専属講師により、完全予約制で行います。

#### 美容レーザー外来

毎週月曜・木曜:午後2時より対象疾患:シミ、そばかす、ほくろなど患者様によっては健康保険適応の場合(アザ、皮膚腫瘍など)もあるため、あらかじめ予約によりカウンセリング(無料)を受けていただき、美容レーザー治療の適応と判断した場合に自費診療を行います。

る治療と、形成外科の非常勤講師でもある、かづきれい先生によるリハビリメイク外来がそれです。受診の前に無料相談を受け付けているそうです。悪性黒色腫が見つかることも。患者さんのご紹介は月～金の午後2-4時の間に形成外科外来に電話でどうぞ(Tel:06-6645-3381)。

### 意見交換会兼懇親会

懇親会は、阿倍野区医師会長の亭島先生による乾杯の音頭で始まりましたが、先生はそのなかで「こんなに特徴があって勉強になるすばらしい会に、もっと多くの方が参加しないともったいない」と発言されていました。広報、周知にもっと力を入れていきたいと思えます。懇親会は、文字通り本会の名称にふさわしく、実地医家と市大病院の医師の「Face-to-Face」で「他人」から



「顔見知り」に変化した方々も多かったと思います。お酒も入り、会話で盛り上がりながら7時前に三々五々の解散となり、一部を除いて帰路につきました。ん? 「一部」はどこへ行った?

### 次回のご案内

講師や世話人は、もちろん手弁当です。症例呈示では、よく遭遇する症状だが意外な結末が、あるいは実地医家から市大病院へ紹介いただくタイミング、最先端の診断・治療がわかる、などのポイントを提示します。また、ミニレクチャーでは、大学病院ならではの医療を紹介します。知っていれば、患者さんに適切なアドバイスができます。次回は11月15日(土)の3時から、市大医学部学舎6階中講義室で開催します。是非、ふるってご参加ください。参加は無料です。